

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

有機JAS認証の「大豆」と「もち麦」を利用した、大豆飲料および機能性クッキー等の開発と販売

有機JAS認証となる大豆ともち麦の原料を活用して、健康志向のターゲット層に向けた新たな商品の研究開発及び販路開拓を実施する。

連携体

農林漁業者

Three little birds合同会社(農業/耕種農業:法人番号 2040003008266)

有機JAS認証の「大豆」と「もち麦」の安定供給を実現するため、量産化可能な有機圃場を整備するとともに、生産性を高めるための運営体制の構築を行い、安全かつトレーサビリティが確保された生産体制の構築を目指す。

中小企業者

株式会社實埜呂(食料品製造業:法人番号1040001032161)

自社の製造加工技術・設備等を用いて、農林漁業者が生産した「大豆」「もち麦」の持つ豊富な栄養機能を活かした健康志向の消費者ニーズに沿う大豆飲料・健康クッキーの研究開発を実施する。

連携参加者

特定非営利活動法人實埜里／寺本農園／市民エネルギーちば合同会社

商品生産・製造委託／農場管理、収穫、乾燥、調整支援／ソーラーシェアリング運用、運営技術支援

サポート機関等

千葉県産業振興センター、(独)中小企業基盤整備機構関東本部

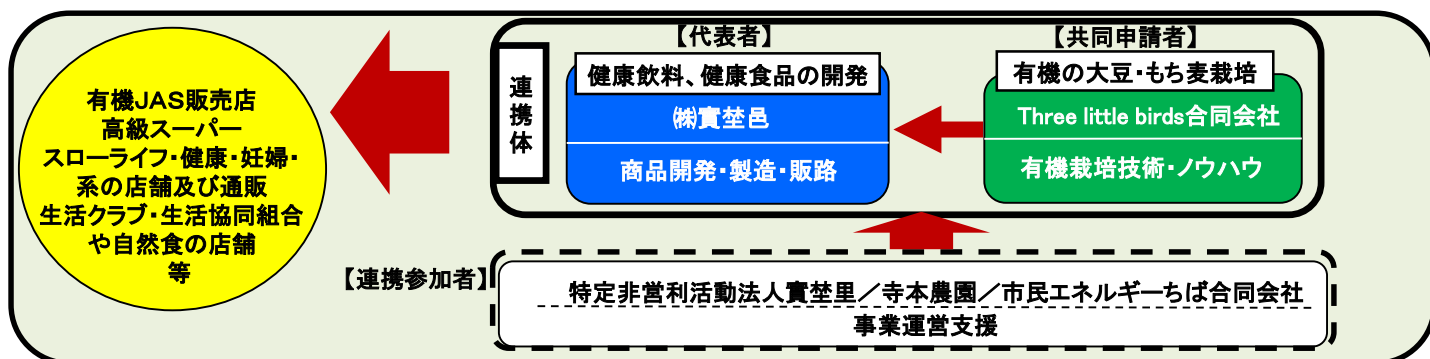
連携に当たっての課題や工夫

農産物の播種から製造・販売までのトレーサビリティシステムが確保された「安全性の高い原材料」を安定供給するために、農業者は有機栽培面積を拡大させ、生産性向上、品質向上、収量増につながる栽培方法の確立や最適な栽培土壌を研究開発する。中小企業者は在来種であるヒュウガ大豆の蛋白質含有量やもち麦の豊富な食物繊維、水溶性β-グルカン等を活かし、健康志向の消費者ニーズに応える大豆飲料・健康クッキーの製造・販売を目指す。それにより両社の経営理念である地球環境への配慮と障害者雇用による“農福連携”を実現し、両社ならではの事業展開を実現していく。



【大豆飲料試作品】

【健康クッキーの試作品】



連携による効果

農林漁業者

4年で795万円の売上高増加、収益性の強化および地域活性化の実現

栽培面積を拡大することにより、休耕地・耕作放棄地の有効利用と農の雇用拡大を図るとともに、関連事業者の経営向上や地域活性化につなげてゆく。また、売上の増大による、大豆・麦の地域ブランド確立も実現できる。

中小企業者

4年で約4900万円の売上高増加、自社ブランド商品事業の拡大

作付から製造、販売まで一貫通貫の流通体制によるトレーサビリティが確保された原料を用いた安心安全な商品を提供することで消費者の高い信頼を得るとともに、自社ブランド商品事業による売上拡大・収益向上も実現できる。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社實埜呂

TEL：047-338-6061

E-mail：office@minonomura.com

所在地：千葉県市川市本北方3丁目16番1号

FAX：047-338-9369

ホームページ：http://minonomura.com/